

視聴覚教育

NO 108

発行日 59.12.1

発行 岡崎市AVL

編集

広報委員会

放送教育研究会全国大会

滋賀大会に参加して

美川中学校 高木和広

十一月十五日(木)十六日(金)の二日間、第三五回放送教育研究会全国大会滋賀大会に参加する機会を得た。「碧いびわ湖のように、未来に生きる人間の育成をめざし、仲間とともにひろがり」と深まりを求め放送教育をすすめようという大会研究主題にそって、保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、障害児教育諸学校、それに社会教育が参画した研究会である。

一日目は、守山北中学校へ出かけ、午前中は、二時間の社会科の公開授業を参観し、授業研究に参加した。ここでは、二時間公開された授業が参考になった。一時間目にテレビを視聴して問題をつかむところまでが実施される。二時間目は、クラスこそ違うが、一時間目につかんだ問題について調べてきたことを発表する

という展開であったため、その発展の様子がよく分かった。

午後は、社会科部会研究が行われ、滋賀県と奈良県の二人の先生が提案されたことをもとに討議が進められた。その中で、テレビ番組を資料的に扱うのか、継続視聴をしてその効果を期待するのかといった点も話し合いがなされた。中学校の限られた時間、それに入試科目であるということが背景にあ、たといえよう。また、テレビ内容の段落分け、イメージマップ、構造図などについても話し合いがなされた。

二日目は、中学校全体会ではいろいろな報告がなされたが、パネル討議では、「温かい人間性を養い、確かな学習力を身につける放送教育をすすめよう」と題して、放送教育の今後のあり方などについての提言がなされ、参考になることがいくつもあった。

ライブラリーだより

県自作視聴覚教材コンフルに応募を。

8ミリ・スライド・ビデオの作品を一括して、県へ応募いたします。当ライブラリーへ、12月27日未までに持参して下さい。詳細は、教育公報一四四号を見て下さい。

2学期の最終配達は、12月10日。3学期開始は、10月10日です。

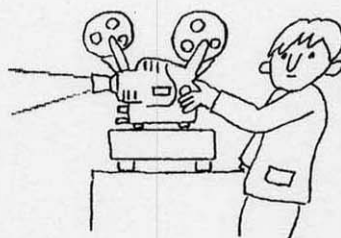
映画を使った授業

岡崎小学校 内田謙介

教師になって三年目。まだまだ授業がうまくできない。今日こそは、この時間こそと念入りに教材研究をしてみても、思うようにいかない授業の連続である。不得手な教科であったり、実際に経験させることのできない分野はなおさらである。こうした場合、本年度はテレビや映画をできるだけ使うようにしている。

先日は映画を使い、消化と吸収のしくみの授業をした。視聴覚機器を利用すると、難しい内容であっても子供たちは真剣に見ている。しかしノートを見ると、他の所は多く書いても、そこだけは一、二行しか書けず、難しい所は記憶に残っていない。

また「胃はなぜ……」などと疑問を書いている子がいた。授業ではこれをつまくとりあげられなかった。一人ひとりの子供のもつ疑問や課題に対して、授業の中でどのように解決させていくかが大きな問題であり、今後さらに努力をしたい。



自作TP作品入選者

昭和五十九年度の岡崎市自作TP作品募集は、十月一日に締切られ、八十六点の作品が応募された。厳正なる審査の結果、六十六人が入選という結果を得ることができた。入選作品については、自作TPコンクールへも応募された。

審査を終えての評価は次の通りであった。

- 1 コンクールのための作品ではなく、授業で使用されている作品が出品される傾向にあることは、高く評価したい。
- 2 オトバーレイや、動きを工夫した作品の中に、シートが等寸ざたり、固定の仕方が悪かったりして、使い難い作品も目立つ。
- 3 文字が小さすぎるもの、不鮮明なもの、一枚のTPに情報量が多すぎるもの、着色での美しさを欠くものなど、もう少し、ていねいに仕上げしてほしい。
- 4 子どもたちの学習意欲を高め、授業をわかりやすくするためにも、もう一つ、工夫がたりないように思われる。
- 5 算数、保健、特活などには、十数枚から成る大作もあり、授業での活用と、その効果が期待される。